

2021年8月1日～8月7日 各家庭でのディポーション用テキスト

主よ 私をあなたのとりこにしてください

そうすれば 私は自由の身となります

主よ 私のつぎを捨てさせてください

そうすれば私は征服者になれるのです

自分だけで立とうとすれば

荒波の中に消されてしまう

力の御手でとらえてください

そうすれば 私の手も強くなるのです

私の心が主なるお方を知らないならば

いつまでも弱く いつまでもみじめです

定められた道に行くことを知らず

風の吹くまにまに揺れ動くのです

私の心をあなたのくさりにつなぎ留めて

力のご愛で 私を奴隷にしてください

そうすれば 私の心は自由の空を駆けめぐり

永遠に主とともに治めることができるのです

ジョージ・マゼソン

## ■権力を行使する訓練（1/4）

あなたの助けはわたしを大いなる者とされました。（詩篇 18：35 協会訳）

私たちのうち大部分の者は「従う者」（弟子）である。それは当然のことである。しかしながらある人々は、学校や教会、農園や工場、地域社会や国家に属する多くの人々の利益のために、指導的な立場に立たなければならない。「従う者」には、自分に与えられた義務を勤勉に、そしてにこやかに実行することが要求される。指導者の地位にある者のためには、統治の訓練がある。それは、権威ある地位に呼び出された者が、自己の利益のために導き、あるいは支配することがないように、彼らの態度を分析し、動機を評価するものである。私たちは、他の人々のために、また心のへりくだったキリストに忠実であるために、愛をもって指導権を行使しているだろうか。それとも彼らに対していばりちらしているだろうか。主イエス・キリストは人の心に対する真の鋭い洞察力をもって、弟子たちに（また弟子たちを通して私たちに）言われた。「あなたがたも知っているとおりに、……偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。あなたが

たの間で人の先に立ちたいと思う者は、あなたがたのしもべになりなさい。人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです」(マタイ 20:25-28)。

卑しい身分の人間が一躍権力の座に上った実例の中で、ダビデの場合ほどめざましいものはほとんど見当たらない。彼は羊の番をするという職業から、ついに一国の王になってしまった。現代の小説や伝記の中には、私たちの興味を引くものがあるが、このエッセイの末っ子の出世の物語ほどのものは見当たらない。琴をひいて歌う者が石投げ器で国民を救い、詩人が勇敢な働きをし、名もないいなかの子供が王となり、羊飼いの少年が主権者となったのである。彼のこのような驚くべき成功から、私たちはどのような秘訣を学ぶことができるだろうか。

それは疑いもなく、彼の業績の原因が彼の勇気にあるということであろう。動物園で熊や獅子をながめていると、だれでも、ダビデがこれらの動物に素手で立ち向かったことを思い起こし、そのような際には最高度の勇気が必要であることを悟るであろう。父の羊を野獣の略奪から守った行為に見られる義務に対する献身、あるいは、ある人々に生まれながらに与えられている人を引きつける力が、彼の勝利の試金石であったかもしれない。しかしダビデが権力ある地位に上ったことを謙虚に物語るとき、決してこれらのものに言及することはなかった。彼はただ率直に、「あなたの助けはわたしを大いなる者とされました」と言ったのである。

ダビデの温和、柔和、従順、やさしい心が彼の生涯にほんとうの意義を与えたことを、だれが推測したであろうか。彼はのびのびとして勇敢な羊の守護者、恐れを知らない兵士、威厳ある指導者、平和をつくり出す人と言うよりもむしろ戦いの人、軍事的手腕によって民の支配者となった人のように思われる。しかし、このような属性は彼の偉大さの真の秘訣ではなかった。むしろ、彼の柔和さが彼を支配者とし、やさしさが彼を王とし、温和さが彼を偉大な人物にしたのである。

【V・レイモンド・エドマン 人生の訓練 第二十八章「権力を行使する訓練」より】  
※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい